

新型コロナウイルス感染症に関する大会開催について【主管団体用】

2022年8月31日

公益社団法人調布市体育協会

調布市民体育祭実行委員会

第62回調布市民体育祭の各競技開催にあたり、新型コロナウイルス感染症への対応について、関係機関の対応方針に即して基準を定めました。大会役員は必ずご確認ください。

なお、各関係機関が今後発出する方針等に応じて、適時取扱いを見直します。

1 大会開催に当たっての基準

大会開催に当たっては、公益財団法人日本スポーツ協会が定めるガイドライン、各競技の上部団体等が定めるガイドライン、各関係機関の対応方針及び本基準に従い、調布市・調布市教育委員会・公益社団法人調布市体育協会にて協議の上、中止または延期を要請する場合があります。

2 大会開催時における留意点

大会開催時の感染防止策について、公益財団法人日本スポーツ協会の各種指針に基づき、参加者が安全・安心に参加できるよう、その運営に当たり留意すべき事項を定めます。

会場によっては定員を設定している場合があります。定員は、スタッフ・参加者・観客を含めた人数となります。このことから、原則として無観客での開催をお願いします。また、参加者については、調布市民に限定し、近隣地区の招待等は原則として禁止または制限をお願いします。

(1) 大会参加における基本事項

- ①感染拡大防止対策を遵守すること。
- ②感染拡大防止のため、必要に応じて競技形式の変更や大会直前でも中止となる場合がある。
- ③日頃から、マスクの着用、手洗いの徹底、アルコール等による手指消毒、ソーシャルディスタンス、「3つの密」を避けての行動など、感染防止対策を実践すること。
- ④日頃から、睡眠、食事をしっかりととり、生活リズムを整えるなど体調管理に配慮するとともに、スポーツ活動を行う前（試合前）に必ず自身の体調チェックを行うこと。
- ⑤新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をダウンロードし、感染拡大防止に努めること。

※ダウンロードは4ページQRコードをご利用ください。

→役員、スタッフ及び大会参加者への共通事項です。必要に応じて大会当日もアナウンスをお願いします。感染症対策の手指消毒用アルコール、備品消毒用の次亜塩素酸水、非接触型温度計（体温計）は体育協会事務局から提供（貸出し）いたします。必要数と受取り希望日を事前にご連絡ください。

(2) 当日の参加受付時の留意事項

大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催するため、以下に配慮して受付事務を行うこと。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること。
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽することが望ましい。
- ④ 参加者が整列する際は、距離を置いて並べるように案内すること。
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- ⑥ 出来る限り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を減らすようにすること。
- ⑦ 当日の受付に限らず、事前受付を実施し混雑を極力避けること。

(3) 大会参加者への対応

1) 体調の確認

大会当日の受付時に、以下の事項を確認すること。

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※申込時に提出している場合、大会当日は氏名のみ
- ② 大会当日の体温（屋内競技では検温を必須とする。）
- ③ 大会当日における下記事項の有無の確認
 - ア 平熱を超える発熱（概ね 37.5 度）
 - イ 鼻水、せき、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の疑い
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

→競技実施中に体調が悪くなる場合もあります。大会中も参加者の体調の変化に注視してください。

2) マスク等の準備

大会当日、大会関係者並びに参加者にマスクの準備を周知すること。

なお、競技中のマスク着用は参加者等の判断によるものとするものの、参加受付、着替え、表彰式等の直接競技を行っていない間、特に会話する時には、必ずマスクの着用をすること。

また、大会関係者や参加者は、大会前後のミーティング等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分な配慮を図ること。

役員や競技補助員の試合中におけるマスクの着用については、当日の気温等を考慮し判断すること。

(4) 大会時準備・配慮すべき事項

1) ガイドラインや注意事項等の徹底

使用施設のガイドライン及び使用上の注意事項等を遵守すること。

→大会開催前に役員・スタッフで情報共有をお願いします。

2) 大会会場・競技備品類

感染症拡大防止の対応では、換気について特に留意が求められます。

また、競技で使用する備品には不特定多数の参加者が直接手を触れる物が多く、開催期間の前後を含む継続した対応が必要です。

- ① 記録席、選手ベンチ等も、試合進行に支障が出ない範囲で距離を保つように設置すること。
- ② 屋内施設（更衣室・トイレ等）や屋外での（テント等）設置物に関して、換気の悪い密閉空間とならないよう利用人数の制限や通気口を設ける等配慮すること。
- ③ 試合球（シャトル等）は複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用すること。
- ④ 線審フラッグ、得点板、レーキ、記録用テーブル・イス、選手ベンチ等、試合で使用する共有備品類は適時消毒をすること。
- ⑤ 審判員の笛等（私物）についても、唾液の付いた状態での放置を禁止する。（※電子ホイッスル等の活用）
- ⑥ 試合スケジュール作成の際、複数の試合があるチームは可能な限り同じコートでの試合を組み感染拡大防止に努める。
- ⑦ 感染対策とともに熱中症のリスク対策が必要です。特に、マスクを着用していると水分補給を忘れてし

まうことにより、体温が上昇することがあるため、こまめな水分補給を徹底すること。

役員や競技補助員の試合中におけるマスクの着用については、当日の気温等を考慮し判断すること。

→競技実施中も随時会場内の巡回及び必要箇所の消毒作業を実施してください。

3) 運営スタッフの配置数及び体調確認

- ① 参加選手のみならず、運営に関わるすべてのスタッフの検温を実施し、上記（4）と同様の確認を行います。運営リストにはない関係来場者（来賓、取材関係者を含む）などを正確に把握し、全員分の体調確認も徹底すること。
- ② 主審、副審、スコアラー、ラインジャッジ等の審判やオフィシャルスタッフの配置については、大会全体の総人数を少なくするよう配慮する。

4) 式典等、運営の簡略化

開・閉会式、表彰式などでは、参加者が密になる状態を避けるため、式典参加者の数を減らす、内容を簡略化するなど、必要性に応じながらも柔軟な対応をとること。

5) トイレ・手洗い場所

トイレ・洗面所は感染リスクが比較的高いと考えられるため、以下に配慮して管理すること。

参加者等が試合間に手洗い・うがいをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所の確保が必要です。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
- ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意すること。
- ④ 可能な範囲で、手を拭くための使い捨てペーパータオルを用意すること。（参加者にマイタオルの持参を求め、布タオルや手指を乾燥させる設備の使用は禁止する。）
- ⑤ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

6) 更衣室、休憩・待機スペース

更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられるため、更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮しての準備が必要です。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。（障害者の介助を行う場合を除く。）
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室（使用）する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける、通気口を設ける等換気に配慮すること。

→競技終了後は速やかにお帰りいただくようにご案内ください。また、なるべく午前午後等で、出場者が入れ替えられるようなスケジュール作成をお願いします。

7) 飲食について

飲食時には、以下に配慮が必要です。

- ① 弁当・ドリンク等を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うこと。
- ② 飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、黙食を徹底する。

③ 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てないこと。

8) 競技中の注意事項

プレー中も選手、スタッフ同士の接触機会を減らすよう、以下の点に配慮が必要です。参加者には、競技前に周知のうえ協力の要請をすること。

- ① 共有備品類は、試合ごとに消毒を行うこと。
- ② 試合前後、公式練習時等においてもできるだけ密集・接触を避けること。
- ③ 競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめる。
- ④ ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える。
- ⑤ タオル、水ボトル、アイシングバッグなどは共用禁止とすること。
- ⑥ 競技に携わるスタッフの注意事項も明確にすること。

9) 観客の管理

観客・付き添いの入場を認める場合には、検温の実施、マスクの着用を必須としたうえ、観客出入口付近通路にアルコール等の手指消毒剤を設置するほか、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ入場制限をして間隔を空けるなどの対応をとること。

応援については、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用することが求められますが、トラブル回避のためにもあらかじめ観戦者への周知を行うこと。

10) ゴミの廃棄

鼻水、唾液などが付いたごみや使用済のテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用すること。作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。

(5) 発熱者・感染者が発生した場合の留意事項

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意しながら、参加者より提出を求めた書面（上記（4））について、保存期間（1か月程度）を定めて保存しておくこと。

大会期間中に体調不良者（発熱等）が出た場合、大会継続・中止の判断を含め、調布市及び体育協会の指示に従い対応すること。

また、大会終了後に、大会関係者や参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は、体育協会に連絡し必要に応じてその他の大会関係者や参加者に対して連絡をとり、症状の確認等を行うこと。

【新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）ダウンロード用QRコード】



iPhone



Android

公益社団法人調布市体育協会事務局
スポーツ事業係 井上・山下・安達
電話：042-481-6221